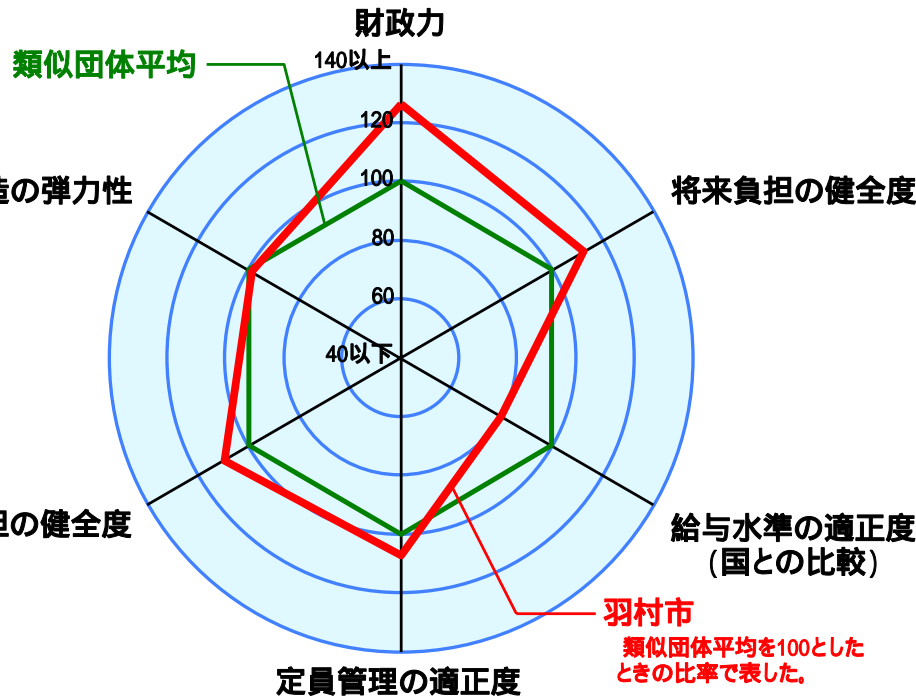
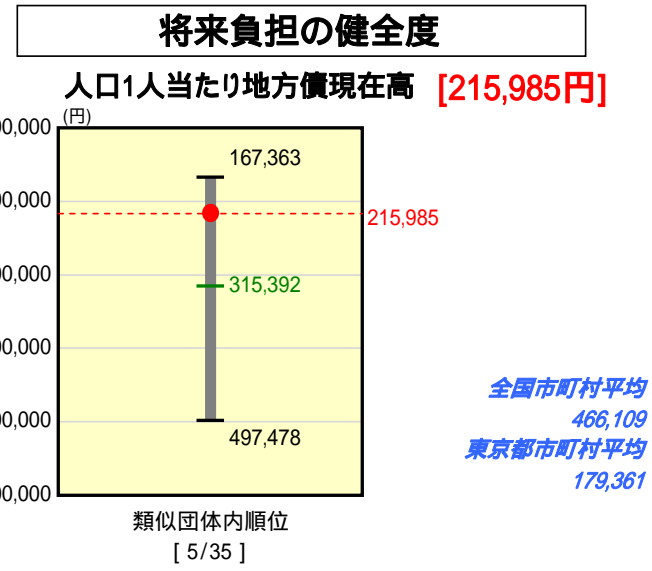
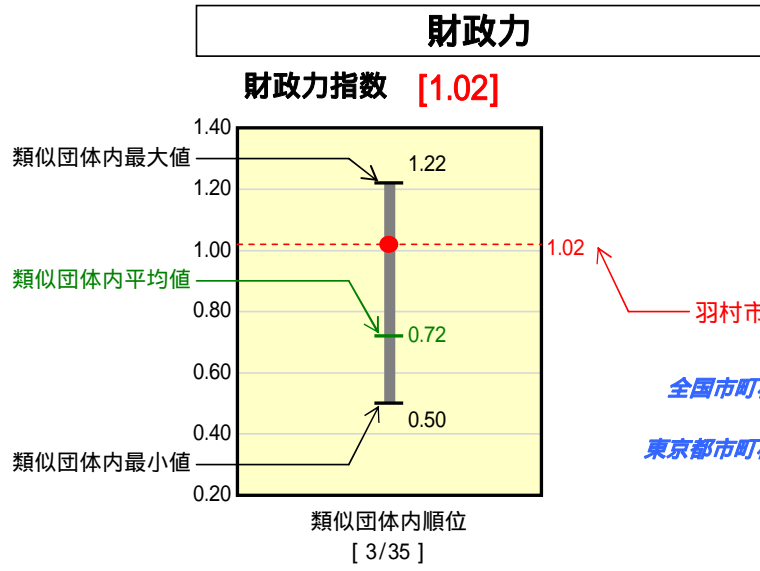


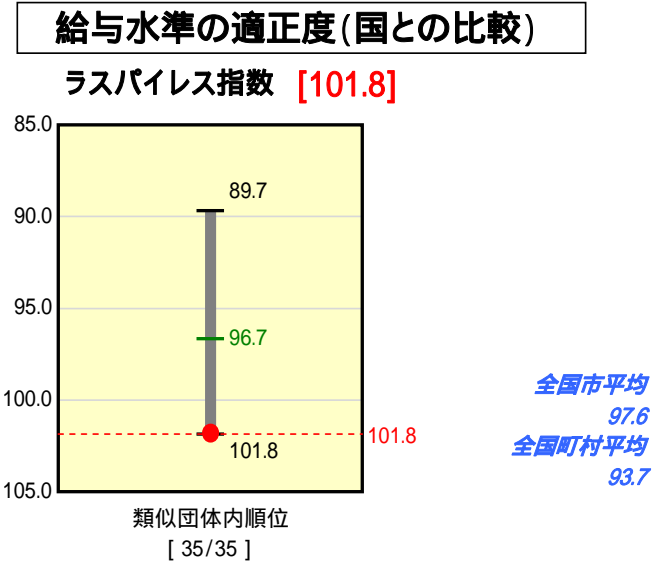
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

東京都 羽村市

人口	55,151人(H17.3.31現在)
面積	9.91 km ²
歳入総額	20,746,187千円
歳出総額	20,373,889千円
実質収支	358,288千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



分析欄

財政力指数…景気回復等により市民税法人税割や地方消費税交付金が増加するなど、前年度に引き続き、単年度で1.0を超えた。また、3ヵ年平均についても、平成16年度は1.0を超えた。類似団体平均は0.72であるが、今後も、交付税制度改革などの影響もあることから、財政力指数は1.0以上を維持できるものと推定している。

経常収支比率…前年度に比べ、2.4ポイント改善した。これは、市税、地方譲与税等の増加により経常一般財源が増加したことによる。しかし類似団体平均は、90.8であり、平均を下回っている。現在、羽村市行財政改革推進プランにおいて、90.0%を目標にし、経常経費の削減などに取り組んでいる。

起債制限比率…前年度に比べ、0.7ポイント改善した。これは、公債費の減や標準財政規模の増による。類似団体平均9.5よりもかなり低い数値であり、東京都市町村平均よりも低い数値となっている。今後も数値が大幅に増加することのないよう努めていく。

地方債現在高…前年度にくらべ、若干増加している。類似団体平均より低い数値であるが、東京都市町村平均を上回っている。今後も、生涯学習施設西棟の建設、都市計画道路の建設などがあることから、地方債残高は増加していくと考えているが、後年度負担を考慮しながら慎重に財政運営を行っていく。

ラスパイレス指数…給与の適正化については、退職(予定)時特別昇給の廃止、特殊勤務手当の廃止(現在、特殊勤務手当は1つのみ)などの措置を講じており、ラスパイレス指数も東京都市平均101.5と同程度であるが、全国市平均等に比べると高い水準にあるため、今後給与体系全般を見直す中で是正措置を検討していく。

職員数…類似団体平均、東京都市町村平均より低い数値であり、前年度にくらべても、0.08ポイント改善している。定員適正化については、平成7年度から取り組み、平成6年度には、人口1,000人あたり職員数7.92人であったが、平成16年度には、6.29人となり、取り組みの効果が表れている。今後も平成17年度から21年度までの定員適正化計画を定め、取り組んでいく。

